



## ジョブのスケジューリング

---

一括トランザクションをスケジュールして、トランザクションを開始する時刻を指定できます。

Bulk Administration メニューから送信されるすべてのジョブは、Bulk Provisioning Service (BPS) のキューに入れられます。ジョブに対して指定した開始時刻により、トランザクションの実行が開始されます。開始時刻が指定されていない場合、トランザクションは受信した順序で実行されます。

BPS をアクティブにしてジョブをスケジュールする方法については、次のトピックを参照してください。

- [Bulk Provisioning Service のアクティブ化 \(P.40-2\)](#)
- [BPS の開始 / 停止 / 再起動 \(P.40-3\)](#)
- [BPS の無効化 \(P.40-4\)](#)
- [ジョブの検索 \(P.40-5\)](#)
- [ジョブのスケジューリング \(P.40-7\)](#)

## Bulk Provisioning Service のアクティブ化

ジョブを送信して実行する前に、BPS がアクティブになっていることを確認してください。

BPS をアクティブ化するには、次の手順を実行します。

### 手順

---

**ステップ 1** Cisco Unified Presence Server Serviceability ウィンドウで、**Tools > Service Activation** の順に選択します。

Service Activation ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Server ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco Unified Presence Server を実行するサーバを選択します。

**ステップ 3** Database and Admin Services エリアで、Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオンにします。



(注) サービスがすでに有効になっている場合は、Activation Status に Activated と表示されていません。

---

**ステップ 4** **Update** をクリックします。

**ステップ 5** ウィンドウが更新され、Bulk Provisioning Service に対応する Activation Status に **Activated** と表示されます。



(注) BPS は、有効にすると自動的に開始します。サービスの開始、停止、および再起動については、[P.40-3](#) の「[BPS の開始 / 停止 / 再起動](#)」を参照してください。

---



(注) BPS を開始すると、その都度 Cisco Unified Presence Server データベースとの同期が実行されます。

---

## BPS の開始 / 停止 / 再起動

BPS を有効にした後に自動的に開始するには、Cisco Unified Presence Server Serviceability を使用します。この項では、BPS を停止または再起動する手順について説明します。

### 手順

---

**ステップ 1** Cisco Unified Presence Server Serviceability で、**Tools > Control Center - Feature Services** の順に選択します。

Control Center - Feature Services ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Servers ドロップダウンリスト ボックスから Cisco Unified Presence Server を選択します。

Cisco Bulk Provisioning Service が Database and Admin Services エリアの Service Name 列のリストに表示されます。



(注) P.40-2 の「Bulk Provisioning Service のアクティブ化」の手順に従い BPS を有効にすると、ステータスに **Activated** と表示されます。

---

**ステップ 3** BPS に対応するチェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** BPS を再起動するには、**Restart** をクリックします。

サービスが再起動され、**Service Successfully Restarted** というメッセージが表示されます。

**ステップ 5** BPS を停止するには、**Stop** をクリックします。

サービスが停止し、**Service Successfully Stopped** というメッセージが表示されます。

**ステップ 6** 停止した BPS を開始するには、**Start** をクリックします。

サービスが開始され、**Service Successfully Started** というメッセージが表示されます。

---

## BPS の無効化

BPS が不要な場合は無効にすることができます。この項では、BPS サービスを無効にしてツールからログアウトする方法について説明します。

### 手順

---

**ステップ 1** Cisco Unified Presence Server Serviceability で、**Tools > Service Activation** の順に選択します。

Service Activation ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Servers ドロップダウン リスト ボックスから Cisco Unified Presence Server を選択します。

Cisco Bulk Provisioning Service が Database and Admin Services エリアの Service Name 列のリストに表示されます。

**ステップ 3** Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオフにして、**Update** をクリックします。

サービスが無効になり、Status 列に Deactivated と表示されます。

---

## ジョブの検索

Bulk Administration メニューから BPS へ送信済みのジョブを検索するには、次の手順に従います。

### 手順

**ステップ 1** [Bulk Administration] > [ジョブスケジューラ] の順に選択します。[ジョブの検索と一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [ジョブの検索と一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウの最初のドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。

- ユーザ
- ステータス
- ジョブ ID
- 説明
- スケジュール日時

**ステップ 3** [ジョブの検索と一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウの 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

**ステップ 4** 3 番目のドロップダウン リスト ボックスから [表示] を選択して、完了したジョブを表示します。

**ステップ 5** 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのジョブを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

**ステップ 6** クエリーをさらに定義するには、AND または OR を選択して複数のフィルタを追加し、ステップ 2 ~ 5 を繰り返します。

**ステップ 7** [検索] をクリックします。

検出されたジョブのリストが次の基準で表示されます。

- ジョブ ID(Job Id)
- スケジュール日時 (Scheduled Date Time)
- 送信日時 (Submit Date Time)
- 順序 (Sequence)
- 説明 (Description)

- ステータス (Status)
- 最後のユーザ (Last User)



---

**(注)** ジョブのスケジューリング時に [後で実行 (このジョブをスケジュールして有効にするには、[ジョブスケジューラ] ページを使用します。)] オプション ボタンをクリックした場合は、[ステータス (Status)] に Hold と表示されます。[今すぐ実行] オプション ボタンをクリックした場合は、[ステータス (Status)] に Pending と表示されます。ジョブが完了している場合は、[ステータス (Status)] に Completed と表示されます。また、エラーが発生して完了できないジョブの場合は、Incomplete と表示されます。

---

**ステップ 8** 処理中のジョブ、またはスケジュールおよびアクティブ化する保留中のジョブについて、ジョブ ID をクリックします。

[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウが表示されます。

選択したジョブのステータスと要約の結果を表示できます。

---

#### 追加情報

P.40-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ジョブのスケジューリング

送信済みのジョブをスケジューリングするには、次の手順に従います。

### 手順

- ステップ 1** P.40-5 の「[ジョブの検索](#)」の手順に従ってスケジューリングするジョブを検索します。
- ステップ 2** [表 40-1](#) の手順に従い、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、ジョブのスケジューリングとアクティブ化の設定を入力します。

**表 40-1 ジョブの設定値**


フィールド	説明
ジョブ ID(Job id)	このフィールドには、ジョブの送信時に作成されたジョブ ID が表示されます。
ジョブのステータス (Job Status)	このフィールドには、次のいずれかのジョブ ステータスが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Hold</li> <li>Pending</li> <li>Completed</li> <li>Incomplete</li> </ul>
スケジューリング日時 (Scheduled Date Time)	ドロップダウン リスト ボックスから月、日、年を選択します。ジョブをスケジューリングする時刻を入力します。
送信日時 (Submit Date Time)	このフィールドには、ジョブが送信された日時が表示されます。
順序 (Sequence)	ドロップダウン リスト ボックスから、ジョブの実行順序を選択します。選択できる数値は 1 ~ 20 です。   <b>(注)</b> 複数のジョブで同じ日時がスケジューリングされている場合、この順序の数値に従ってそれらのジョブが BPS のキューに入れられます。スケジューリングされた日時と [順序 (Sequence)] が同じである場合は、送信された日時に応じてジョブがキューに入れられます。
ジョブ説明 (Job Description)	このフィールドには、ジョブの作成時に入力した説明が表示されます。
頻度 (Frequency)	次のオプションの中から、トランザクションの頻度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 度</li> <li>月次</li> <li>週次</li> <li>日次</li> <li>毎時</li> </ul> <p>たとえば、[日次] を選択すると、トランザクションは、[スケジューリング日時 (Scheduled Date Time)] フィールドで入力した時刻に毎日実行されます。</p>

表 40-1 ジョブの設定値 (続き)

フィールド	説明
ジョブの終了時刻 (Job End Time)	このフィールドには、反復的な (頻度の高い) ジョブの終了時刻が表示されます。
最終変更者 (Last Modified By)	このフィールドには、最後にこのジョブを変更した管理者のユーザ ID が表示されます。

**ステップ 3** スケジュールした時刻にジョブをアクティブ化するには [ジョブのアクティブ化] をクリックします。設定を保存して後でジョブをアクティブ化するには [保存] をクリックします。

[ジョブの検索と一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウが表示されます。



(注) ジョブが保存されていてアクティブ化されていない場合、そのジョブのステータスは Hold と表示されます。これらのジョブは、アクティブ化されるまで BPS で処理されません。

**ステップ 4** アクティブ化したジョブのジョブ ID をクリックします。[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウの [ジョブの結果 (Job Results)] エリアに、完了、未完了、停止要求中、または処理中のすべてのジョブに関する次の情報が表示されます。

- ジョブの実行日時 (Job Launched Date Time)
- ジョブの結果の状況 (Job Result Status)
- 処理されたレコードの数 (Number Of Records Processed)
- 失敗したレコードの数 (Number Of Records Failed)
- レコードの総数 (Total Number Of Records)
- ログファイル名 (Log File Name)



(注) このトランザクションのログ ファイルを表示するには、[ログファイル名 (Log File Name)] 列のリンクをクリックします。

**ステップ 5** ジョブのリストに戻るには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [検索 / リストに戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

## 関連項目

- [Bulk Provisioning Service のアクティブ化 \(P.40-2\)](#)
- [BPS の開始 / 停止 / 再起動 \(P.40-3\)](#)
- [BPS の無効化 \(P.40-4\)](#)
- [ジョブの検索 \(P.40-5\)](#)
- [ジョブのスケジューリング \(P.40-7\)](#)